

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	移住・定住促進事業			220106	担当課	まちづくり推進課	
	開始年度	平成27(2015)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	芦田 直也		
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)地域交流推進費	決算附属資料	86	頁	
	施策の大綱	移住・定住の促進			関連計画等	まち・ひと・しごと・あんしん創造総合戦略		
	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業			<input type="checkbox"/> その他 ()			
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくり。 若年層や子育て世代をはじめ、アクティブシニア等、あらゆる世代の交流・地域体感などの機会を提供し、移住・定住人口の増加による地域振興を図ることを目的とする。						
	対象者	移住希望者・移住者受入地域	対象者数	167世帯351人	一人当たりコスト	228.73		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>株式会社ツナグム(移住促進Webサイト保守管理)						
	事業概要	(1)移住希望者、移住者に関する支援・情報発信等(住宅支援金・雇用奨励金・移住促進Webサイト運営・移住情報誌作成・フェア出展等) (2)受入地域支援 地域情報誌作成など意識醸成 (3)地域連携都市圏負担金(7市町協働での情報発信、移住希望者分析など)						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		旅費		移住フェア出展等			310	
需用費・役務費		移住者紹介チラシ、消耗品費、郵送料等			449			
専用HP保守(委託料)、体験ツアー		移住促進Webサイト保守管理に係る業務委託料			911			
使用料		レンタルサーバ、移住フェア等出展料			863			
補助金、負担金		移住定住促進補助金、北部7市町連携負担金			13,806			
関連事業	農山村空き家バンク事業							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		8,539	18,293	23,071		
		補正予算等・・・②		1,446	5,340	0		
		繰越し等・・・③		7,652	0	0		
	財源内訳	一般財源		8,547	240	5,018		
		国支出金		7,652	2,048	2,048		
		府支出金		719	9,648	6,978		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		719	11,697	9,027		
		特定財源名称(H29実績)	地方創生交付金		2,048	国補助金	16	頁
		みらい戦略一括交付金		1,985	府補助金	22	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		1.56/0.55	1.68/0.45	1.68/0.45	/	
		概算人件費・・・④		13,855	14,565	14,565		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			31,492	38,198	37,636			
執行状況	執行額・・・⑥		14,825	16,339				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		84.1%	69.1%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		住宅支援金交付件数	世帯	23/10	23/15	/12	65	
		雇用奨励金交付件数	人	8/10	7/8	/0	44	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		新規移住希望者名簿登録数	件	181/100	65/100	/100		
		ブース出展	回	5/4	5/4	/4		
	単位あたりコスト		81.9	251.4				
	単位あたりコスト		2,965.0	3,267.8				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・都市住民の地方への移住志向とニーズは高い。 ・過疎高齢化、少子化など人口減少に伴う地域活力低下という課題への対応策として、地域住民のニーズは高い。 ・民間団体による移住(希望)者支援のためのネットワークづくりに取組んでいる。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・住宅支援金、雇用奨励金など補助制度については、平成29年度にて終了し、これまで以上に「人と人を繋ぐ」形での移住支援策へ移行し、「補助金から人へ」の転換を図る。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	・なお、当該制度による本市移住者は約2年半の実施期間中45世帯あり、一定の効果を果たしたものと考える。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・移住候補地として本市を知っていただけるよう、移住促進Webサイトや情報誌配架に加え、都市部での移住フェアにも出展し、様々な手段で、本市情報を広く発信しており、本市認知度の向上に一定の効果があつたものと考えられる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	(H29年度市民税額は1人あたり45,684円、H26年度総務省統計による月間世帯支出額:251千円/月)
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	住宅支援金制度による移住者が、目標(15世帯)を超えた点は評価できるが、雇用奨励金については企業側の採用活動の影響を受ける部分もあり目標到達はできなかった。移住促進Webサイトは内容を充実させ好評であるため、継続して質の向上に努めるとともに、都市部でのPR活動と併せて移住希望者の新規登録に結びつけていきたい。		
	今後の課題及び方向性	・セミオーダー型地域体験ツアーを地域協議会等の地域団体と協働で実施することで、受入地域の更なる意識醸成を図るとともに、移住(希望)者と地域を繋げることで、人が人を呼ぶ好循環を生み出していく。 ・移住促進Webサイトや情報誌など、常に内容を更新、精査し移住関心層へ必要な情報が届くよう情報発信に努めていく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを絞り、施策目的や方向性を明確にした上で、効果が測れる目標設定を行うべき。 ・移住者からアンケートなどで「移住した理由」、「決め手となった市の施策」など確認する必要があるのではないか。 ・目標設定をしなければ本来の効果がわからないが、地域振興や地域づくりを併せた事業展開は効果測定が難しくなるので、目標を移住定住に絞るほうがよいのではないかと感じる。 ・「地域振興」という目標に対する成果が解りにくい。 ・移住希望者の段階別に応じた支援が機能しており良い。 			
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	内宮参道活性化事業			220135	担当課	まちづくり推進課	
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	芦田 直也		
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)地域交流促進費	決算附属資料	88	頁	
	施策の大綱	移住・定住の促進			関連計画等	-		
	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する			根拠法令等	-		
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業			<input type="checkbox"/> その他 ()				
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	人口減少、高齢化、空き家増加など集落機能の低下や担い手不足が重要な課題となっている農山村地域において、都市部より移住し、地域協力活動を行うおこし協力隊を配置し、地域課題の解決や地域の維持・活性化を図る。						
	対象者	大江町北部地域の受入地域を中心とした大江地域	対象者数	210	一人当たりコスト	21.14		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	地域内の空き家に移住者を受け入れて地域おこしを行う地域に対し、市が委嘱した地域おこし協力隊(ふくちの村来入)を配置し、地域協力活動を行う。 ・大江町北部地域(内宮、毛原、北原、仏性寺) 【隊員の活動内容】 ・地域内の交流拠点を活かしたまちづくり活動、地域内外の人的交流の推進及び移住促進に向けた取組 ・移住希望者への情報発信、相談、支援						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容				H29経費	
	報酬	協力隊員報酬				2,000		
	使用料及び賃借料	住宅・公用車・パソコン使用料				505		
	旅費・需用費・役務費	公用車燃料費・隊員活動消耗品等				210		
	備品購入費	プリンター、デジタルカメラ等				61		
	負担金及び交付金	いづみやインターネット使用料				61		
	関連事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①	0	3,160	3,510			
		補正予算等…②	0	0	0			
		繰越し等…③	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	0	3,160	3,510			
		国支出金	0	0	0			
		府支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他特財	0	0	0			
	特定財源名称 (H29実績)					頁		
					頁			
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0/0	0.16/0	0.16/0	/			
	概算人件費…④	0	1,280	1,280				
総事業費(①+②+③+④)…⑤		0	4,440	4,790				
執行状況	執行額…⑥		0	2,837				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	89.8%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		任期後定住した人数	人	/	/	/	1	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		活動報告	事業	/	1/1	1/1	3	
		単位あたりコスト	0.0	2,837.0				
	連絡・調整	回	/	35/40	/51	140		
		単位あたりコスト	0.0	81.1				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・事業対象地域は、過疎法、山村振興法等のエリアであり、本市においても著しく過疎高齢化、少子化の進んだ地域であるため、地域住民のニーズは高い。 ・移住、定住など民間での取り組みもあるが、効果的に事業を推進する点で優先度は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・地域課題の解決や移住促進など、地域を特定して活動を行う点で効率が良い。 ・地域活性化という観点では、活性化への取組が多岐に渡り、効果発現まで一定の時間を要することから即効性は薄い。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・着任後は、まず「地域を知ること」「地域住民と交流すること」を主眼に活動を行っており、現時点では「成果」に該当するものはない。今後、2年目、3年目に「成果」として地域住民が感じられるよう取組みを進めていく予定である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・隊員任期後の定住が最終目標であるが、現在は任期途中のため、この点に関する達成状況の評価は出来ない。 ・地域活性化や地域交流拠点の有効活用については、地域のニーズなどを図りながら、現在実施に向けて調整中である。	
	今後の課題及び方向性	・隊員活動は、主軸は地域協力活動であり、受入地域の主体的な取組のうえで、成果を発現するものである。隊員個々の活動に加えて、受入地域を含めた大きな動きを創り出すことが課題である。 ・今後も、隊員活動を継続して、隊員が企画している地域活性化策を地域とともに着実に実行することに注力していきたい。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		・「委嘱」という形態をとっていることを踏まえて、具体的な取り組み内容及びベンチマークを設定し、年度ごとに達成度、進捗を評価すること ・毛原地域での活動は、これまでの当地での事業展開を鑑みて除外することが適当(※多額の予算を投じての地域づくりを実施済) ・アウトプットには、地域活動への参加・情報発信の実績等を挙げること ・(限られた期間のなかではあるが)活動が役に立っているか見えるように		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	里山交流事業			710146	担当課	まちづくり推進課	
	開始年度	平成26(2014)	終了予定年度	平成30(2018)	作成責任者	芦田 直也		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流促進費	決算附属資料	94	頁	
	施策の大綱	移住・定住の促進			関連計画等	-		
	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する			根拠法令等	-		
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業			<input type="checkbox"/> その他 ()				
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	・高齢化、人口減少による農村集落の活力が低下するなか、農家民宿を活用した地域産業の掘り起こし、地域振興、地域再生に繋げる。 ・移住希望者が短期滞在でき、地域を知る機会の創出のため農家民宿を活用できるよう受入体制を整える。 ・森の京都関連事業として、南丹地域(食と森の交流協議会)で行われている教育民泊とインバウンドの受入に関し連携を図る。						
	対象者	開業希望者、開業者	対象者数	24	一人当たりコスト	135.42		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (一社)京都府北部地域連携都市圏振興社福知山地域本部						
	事業概要	・農家民宿開業セミナー(農家民宿の開業を検討している方に、手続き・体験談等) ・農家民宿体験ツアー ・農家民宿開業支援 ・開業者交流会 ・近隣市町との連携 ・森の京都事業における教育民泊誘致に向けた連携						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
	委託料		開業セミナー2回、体験ツアー1回、開業者交流会1回など			447		
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①	350	450	450			
		補正予算等…②	0	0	0			
		繰越し等…③	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	175	0	450			
国支出金		0	0	0				
府支出金		0	0	0				
地方債		0	0	0				
その他特財		175	450	0				
特定財源名称 (H29実績)	地域振興基金繰入金		447	基金繰入金	36	頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.41/0.03	0.35/0	0.35/0	/			
	概算人件費…④	3,355	2,800	2,800				
総事業費(①+②+③+④)…⑤		3,705	3,250	3,250				
執行状況	執行額…⑥		350	447				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	99.3%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		新規開業件数	件	2/5	1/5	/5	30	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	開業セミナー	回	2/2	2/2	/2	10	
			単位あたりコスト	175.0	224.0			
体験ツアー		回	1/1	1/1	/1	5		
	単位あたりコスト	350.0	448.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・農山村振興、移住希望者の短期滞在、教育民泊、インバウンドの受入など里山地域の活力向上と地域産業の創出を図る有効的な手段として農家民宿開業に向けた環境整備が必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・設備投資等の初期費用の負担が少なく、自然環境を活かした日常生活を基本に受入が可能であるため効率の良い取組となる。本市では開業セミナー等によるソフト支援が可能である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・セミナー、ツアーに加え地域協議会等の地域団体との連携により、農家民宿に対する関心が高まってきている。一般家庭での日常生活が地域振興の一助となるため有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	▽担当課による自己評価△	目的及び指標等の達成状況に対する評価	・新規開業者数は、目標に未到達であるが、農家民宿への関心は高まってきている。今後もセミナーやツアー等を通して、農家民宿へ関心のある方の掘り起こしと開業への不安払拭などに取組み、開業への機運を高めていきたい。	
今後の課題及び方向性		・平成28年度より、当該事業は(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社福知山地域本部(旧福知山観光協会)へ委託している。「森の京都DMO」との連携や受託事業者のネットワーク等も活用しながら、「教育体験旅行」受入を目指した活動を行う。 ・現在、本市での開業件数は11件であるが、広範囲に点在しているため、団体等の受入も視野に入れ、既存民宿を核とした民泊群の形成が課題である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・「移住・定住」という大目的にかなった有効な手段と言えるのか？ →今日的な状況を踏まえれば、農家民宿(泊)を進めるならば、観光・農家の所得確保という目的に転換して進めるべき ・DMO(福知山支部)への委託で、何をどこまでやらせるのか、明確にして取り組むこと ・30年度が終了予定となっているので、それ以降について廃止か所管替えるのか検討を		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	お試し住宅管理事業(大江地域)			530104	担当課	大江支所	
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山中 忠雄		
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)地域交流推進費	決算附属資料	94	頁	
	施策の大綱	移住・定住の促進			関連計画等	まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略		
	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する			根拠法令等	福知山市お試し住宅条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	市外から福知山市への移住を希望している人が、一定期間本市の気候・風土及び生活を体験できる施設として整備し、移住・定住の促進につなげる。						
	対象者	市外の住民	対象者数	2	一人当たりコスト	494.50		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	お試し住宅である鬼の里Uターンプラザ1の2階2戸の維持管理に係る経費						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		役務費		ハウスクリーニング			45	
需用費		水道蛇口修繕			3			
関連事業	鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	194	173		
		補正予算等・・・②		1,123	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		1,080	136	115		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		43	58	58		
		特定財源名称(H29実績)	お試し住宅使用料(大江支所)		48	総務使用料	8	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.05/0.01	0.09/0.03	0.09/0.03	/	
概算人件費・・・④		425	795	795				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		1,548	989	968				
執行状況	執行額・・・⑥		840	48				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		74.8%	24.7%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		入居戸数	戸	2/2	2/2	/2	5	
				/	/	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		ハウスクリーニング実施戸数	戸	2/2	1/2	/2	5	
		単位あたりコスト		420.0	48.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	人口増加につなげるとともに、都市圏の移住希望者の移住支援策として必要
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	お試し住宅使用料を徴収し、歳入を確保している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	お試し住宅に一定期間居住することで、地域の魅力を感じて、定住につながる
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	お試し住宅整備後、継続して入居がある。入居中に自然豊かな地域の魅力を感じていただくことにより、移住・定住につながる可能性が高い。	
	今後の課題及び方向性	事業の必要性から、継続して実施する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・移住・定住に繋がるよう、継続して事業を推進していただきたいと思えます ・現行通りが妥当と判断。現入居者へは地域事業の参加の促進や地域情報の提供を大江支所からしてもらいたい。 ・申請者数や入居の経緯等を把握しておくべき ・現在空いている部屋の有効活用の検討を ・成果を挙げてはいるが、期待どおり、という訳でもない、というのが説明を受けた印象。現在の規模でしばらく継続することが妥当と考えるが、通常の賃貸スペースの稼働率を上げるためであれば、慎重に検討の上、お試し部屋を増やすこともひとつの選択肢。 ・定住に結びつくのか不明		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業			530101	担当課	大江支所		
	開始年度	平成7(1995)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山中 忠雄			
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	94	頁		
	施策の大綱	移住・定住の促進			関連計画等	-			
	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する			根拠法令等	福知山市鬼の里Uターンプラザ条例			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市に移住定住を希望する人に、一定期間Uターンプラザで生活してもらい、その間に定住に必要なこと(住居・知識・人脈等)を身につけてもらうことにより、本市への移住定住者の増加を図る。							
	対象者	住宅入居者	対象者数	40	一人当たりコスト	177.55			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> (株)西日本エスエスシー							
	事業概要	鬼の里Uターンプラザ1・2の管理運営及び施設維持に係る経費							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		光熱水費、階段等施設修繕他			1,412		
役務費		電話代、ハウスクリーニング代、保険料			463				
工事請負費		浴室換気扇取替			242				
委託料		消防設備点検			22				
報酬		運営委員会委員報酬			12				
関連事業	定住促進住宅管理運営事業、お試し住宅管理事業(大江地域)								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		2,112	2,147	1,662			
		補正予算等・・・②		9	50	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		0	46	0			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		2,121	2,151	1,662			
		特定財源名称 (H29実績)	鬼の里Uターンプラザ使用料(現年度分)			2,151	総務使用料	8	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.41/1.99	0.31/0.97	0.31/0.97	/		
概算人件費・・・④		8,255	4,905	4,905					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			10,376	7,102	6,567				
執行状況	執行額・・・⑥		1,602	2,151					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		75.5%	97.9%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		入居戸数	戸	15/40	14/40	/40	40		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		ハウスクリーニング実施戸数	戸	4/9	7/9	/8	8		
		単位あたりコスト		400.5	307.3				
			/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・移住・定住者を増やし人口増加につなげる施策として必要。 ・民間事業者でも実施することは可能だが、現実的に厳しい。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	住宅使用料を徴収し、歳入を確保している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	一定期間居住することで、本市への移住・定住につながる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	入居戸数が目標より少ない。より効果的な広報手段を検討し、実施することで入居戸数を増加させる必要がある。	
	今後の課題及び方向性	事業の必要性から継続して実施する。		
市内及び外部による評価	二次評価 (市内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<p>・「定住を促進するために、一定期間、低家賃で」というストーリーが好循環を生み出すというのが現実的ではないのは、今の状況を見ても明らか → 存在価値やあり方を、廃止も含め抜本的に見直すべき</p> <p>・ランニングコストを家賃収入でまかなえていても、建設費や修繕には間に合わず、フルコストの採算で検討すべきもの</p> <p>・あり方の見直しを進めぬまま、当座の入居率改善のための修繕に手をつけるのは避けること</p> <p>・大きな見直しが必要</p> <p>・入居戸数が減少傾向にあり、収支も厳しい状況であるが、入居に結びつくように検討されたい。あわせて維持管理にかかるコスト縮減も検討されたい</p>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	定住促進住宅管理運営事業			530103	担当課	大江支所		
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山中 忠雄			
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	94	頁		
	施策の大綱	移住・定住の促進			関連計画等	-			
	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する			根拠法令等	福知山市大江町定住促進住宅条例			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	若者の定住施設の確保により定住を促進し、地域活力の増進を図る							
	対象者	住宅入居者	対象者数	30	一人当たりコスト	119.07			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 城谷建設(株)							
	事業概要	定住促進住宅の管理運営及び施設維持に係る経費							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		工事請負費		換気扇取替工事			395		
委託料		消防設備点検、雨どい点検			119				
需用費		階段修繕、消火栓ボックス修繕等			99				
役務費		建物損害共済保険料、郵送料、ハウスクリーニング			78				
旅費		行政法律相談への出張旅費			27				
関連事業	鬼の里Uターンプラザ1・2管理運営事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		425	982	357			
		補正予算等・・・②		0	△ 50	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		0	0	0			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		425	932	357			
		特定財源名称 (H29実績)	定住促進住宅使用料(現年度分)			718	使用料	8	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.43/0	0.33/0	0.33/0	/		
概算人件費・・・④		3,440	2,640	2,640					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		3,865	3,572	2,997					
執行状況	執行額・・・⑥		215	718					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		50.6%	77.0%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		入居戸数	戸	15/30	14/30	/30	30		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		ハウスクリーニング実施戸数	戸	2/3	1/3	/4	4		
		単位あたりコスト		107.5	718.0				
			/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・移住・定住者を増やし、人口増加につなげる施策として必要。 ・民間事業者でも実施することは可能だが、現実的に厳しい。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	住宅家賃を徴収し、歳入を確保している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	本市への移住・定住者の増加につながる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	入居戸数が目標より少ない。より効果的な広報手段を検討し、実施することで入居戸数を増加させる必要がある。	
	今後の課題及び方向性	事業の必要性から継続して実施する。		
市内及び外部による評価	二次評価 (市内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<p>・「定住を促進するために、一定期間、低家賃で」というストーリーが好循環を生み出すというのが現実的ではないのは、今の状況を見ても明らか → 存在価値やあり方を、廃止も含め抜本的に見直すべき</p> <p>・ランニングコストを家賃収入でまかなえていても、建設費や修繕には間に合わず、フルコストの採算で検討すべきもの</p> <p>・あり方の見直しを進めぬまま、当座の入居率改善のための修繕に手をつけるのは避けること</p> <p>・大きな見直しが必要</p> <p>・入居戸数が減少傾向にあり、収支も厳しい状況であるが、入居に結びつくように検討されたい。あわせて維持管理にかかるコスト縮減も検討されたい</p>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	お試し住宅管理事業(三和地域)			530164	担当課	三和支所	
	開始年度	平成28(2016)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	水谷 由紀		
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)地域交流推進費	決算附属資料	94	頁	
	施策の大綱	移住・定住の促進			関連計画等	-		
	施策名	福知山市への移住・定住支援を強化する			根拠法令等	福知山市お試し住宅条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	市外から福知山市へ移住を希望している人が一定期間本市の気候、風土及び生活を体験できる施設として、市営みわ上川合住宅(二戸一棟)をお試し住宅として整備し、移住・定住の促進につなげることを目的とする。						
	対象者	市外の住民	対象者数	2	一人当たりコスト	520.50		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	市営みわ上川合住宅(二戸一棟)の修繕や備品購入等を行い、移住希望者の受け入れ態勢を整える。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		ベランダ塗装修繕(2戸)、給湯器修繕			263	
役務費		ハウスクリーニング料(2戸)			83			
使用料及び賃借料		e-ふくちやま(有線テレビ)使用料			13			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	401	390		
		補正予算等・・・②		2,670	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		2,670	371	240		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	30	150		
		特定財源名称(H29実績)	お試し住宅使用料(三和支所)		137	総務管理使用料	8	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.02/0	0.08/0	0.10/0	/	
概算人件費・・・④		160	640	800				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,830	1,041	1,190			
執行状況	執行額・・・⑥		1,992	359				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		74.6%	89.5%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		管理戸数	戸	2/2	2/2	/2	2	
		入居戸数	戸	2/2	2/2	/2		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H29	最終目標	
		修繕箇所	か所	2/2	3/2	/2	2	
		単位あたりコスト		996.0	119.7			
	単位あたりコスト				/			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	人口増加につなげるとともに、都市圏の移住希望者の移住支援策として必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	お試し住宅使用料を徴収し、歳入をを確保している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	お試し住宅に一定期間居住することで、地域の魅力を感じて、定住につながる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	お試し住宅整備後、11月に熊本市から、1月に亀岡市からの入居者があった。お試し入居中に自然豊かな地域の魅力を感じていただくことで、移住・定住へつなげていく。	
	今後の課題及び方向性	今後も継続して実施することで、移住希望者の支援を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・現行通りが妥当と判断。その他三和町内の空き状況が続いている市営住宅のお試し住宅化も進めばなお良し。 ・(地元等との折り合いが難しいが)募集戸数は限られていながらも、最大限の成果を挙げておられる事業だと感じました。 ・施設管理は、支所で、受け入れなどソフト対策はまちづくり推進課と分ける必要はあるのか。最低限、両課ともしっかり情報共有はしておくべき。 ・評価シートの対象者数を再考すべき ・申請者数や入居の経緯等を把握しておくべき ・移住・定住に繋がるよう、継続して開催できるよう事業を推進していただきたいと思います ・さらに成果があがるように地域協議会などと連携されたい		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		